



第 104 号 2017 年 3 月 13 日 発行 島田療育センター支援部 ピコピコルーム

<http://www.shimada-ryoiku.or.jp/piko/>

ATAC2016 参加報告(前編)



2016 年 12 月 9 日から 11 日の 3 日間、京都で行われた **ATAC カンファレンス京都**に参加してきました。

ATAC カンファレンスとは **AT**(支援技術: Assistive Technology)と **AC**(コミュニケーション技術: Augmentative Communication)をキーワードに障害のある人の生活を変えるべきカンファレンスとして 1996 年からスタートしました。

このカンファレンスは東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍先生が筆頭となり、これからの時代に合った思考の研究者や教育者を集め、とても興味のある研究報告や活動報告が聞けたのでいくつかご報告していきたいと思います。

ゲーム漬けの子のリハビリテーション

現代社会においてゲームに依存している人はとても多いですね。僕もついスマートフォンアプリに没頭してしまいます。

ゲームに依存し保護者や周囲の批判を浴びてしまう…よく聞きますよね。しかし無理やり止めさせようとすれば逆に怒ってしまったり、問題行動が起きたり…マイナスな結果になってしまいます。ではどうしたらいいのでしょうか？

今のゲームというのは様々な要素を含んでおり、そのゲームが建築に役立つ、あるいは作曲や作詞といった能力を自然と身につくそうです。そのゲームをきっかけに他の活動に興味を持たせてあげることが大切であり、その点に大人が気付くこと。そして気付いてあげるにはそのゲームがどういったものなのかを知るといことも大切なようです。

特に今はマイクラフトというゲームが大人気でこれが建築の要素(3D CAD)を含んでいるそうです。今のゲームというのは奥が深いですね。次号に続く。



Minecraft はブロックを組み合わせて家を建てたりできるゲーム。

(5病棟 花田)

OT 科内での機材紹介

先日 OT 科内でピコピコルームの機材の紹介をいたしました。ピコピコルームにはたくさんの IT 機器がありますが、あまり利用したことがない方や、まだ見ぬ知らない機材なんかも多いのではないかと思います。実は私もピコピコ委員でありながら、今回初めて使い方を知ったというものもあったり…なかったり…。そこで今回、機材を紹介しつつ、使い方を勉強しよう！ということで、行いました OT 科内での機材紹介♥

そんな OT 科の中で最も皆様の興味を引いたものが、『**Tobii EyeX Controller**』視線入力ができる機器です。そちらを使い、視線入力用ソフト『**Eye MoT**』でゲームを行いました。

魔女が優雅に飛んでいる姿をずーっと見つめて追いかけるゲームや、あっちこちから出てくる風船をとにかく見て割っていくゲームなどたくさんあり、とても楽しそうに遊んでいまし…体験されていました。やってみての感想で多かったのは、入力における「性能の良さ」と「おもしろい」、そして「目が疲れる👁️」でした。(笑)

イマドキの機器って本当にすごいものが多いですね。「できない」と思っていたことが、IT 機器の活用で「できる」に変わるかもしれない。

そんな可能性を秘めた IT 機器を知り、セラピスト自ら体験して、使い方を考えていくこと、とても大切だと思いました。ご機会があれば、ぜひ体験してみてください。🎵

(OT 科 鈴木)



ピコピコルームについて

島田療育センター 支援部生活支援室 ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者(入所・外来)の皆様方が、パソコンやタブレットなどの IT 機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を高めたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。